

地域社会との密接な連携を築こう

～ 学校の働き方改革に沿うPTA活動 ～

岡崎市立常磐中学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、岡崎市の北部の山間部にあり、鬼まつりや運慶・湛慶の仏像彫刻で有名な瀧山寺の隣に位置している。令和2年度の学級数は10学級（特別支援学級3を含む）、生徒数は226名、実家庭207である。この10年間で生徒数は4割ほど増加し、今後も少しずつ増加していくと予想される。



2 研究のねらい

学校経営方針の一つに「生徒が楽しい学校、保護者が信頼する学校、地域に開かれた学校づくり」を掲げている。PTAとして、その実現を支えるために全面的なサポートを目指している。また、最近では先生方の働き方改革という話をよく耳にする。学校の働き方改革に沿ってPTA活動を見直し、無理なく楽しく活動していきたいと考えた。

3 活動内容

(1) 年間計画の見直し

ア 活動の縮小（体育大会のPTA種目）

体育大会のPTA種目を平成29年度までは四つ行っていた。この年のPTA活動の反省の中に、「子供の競技が見えない」などの声があった。また、学校からは「体育大会終了時間を早くしたい」と要望があり、平成30年度からPTA種目を一つに縮小した。

イ 活動の増加（体育大会での弁当販売）

体育大会のPTA種目を減らしたことで、今までPTA種目の取りまとめをしていた厚生・体育委員の負担が少なくなった。そこで平成30年度より、厚生・体育委員が中心となって昼食時に弁当販売を始めた。朝が忙しいお母さん方に好評であった。

ウ 活動の見送り（PTA制作会と青木川河川美化活動）

PTA制作会（水彩画とアクセサリ制作）はPTA会員の参加が少なく、PTA役員・委員が参加しているのが現状だったので、一昨年度から活動を見送った。

青木川河川美化活動は、生徒、先生方、保護者、地域の方々、小学生、交通指導員など、総勢300人以上が参加する一大行事である。一昨年度、作業中に蜂に刺されることがあった。安全面の確保、そして学校からの働き方改革案に沿って、昨年度から実施方法を大きく変更した。平日に先生方と生徒のみで行い、青木川の河川美化活動に限らず、通学団ごとに生徒のにとって身近な場所で美化活動を行うとした。この二つの活動の見直しによって、PTA役員会の回数が昨年より3回減った。また各運営費が減少し、その分を他の活動に有効活用できるようになった。

(2) 主な活動

ア 資源回収

4月当初の地域回覧で、中学校のメール登録（保護者の他に地域住民がある）をお願いしている。この地域回覧とメールの両方を使って、実施日を知らせ、協力をお願いしている。PTA役員・委員は、取りまとめ役として、回収の指示を出したり、集積の最終確認をしたりしている。収益は学校の教育活動の推進に有効に活用している。

イ 体育大会

PTA種目は、学年を超えた学級対抗の綱引きである。生徒、保護者、先生、祖父母、親戚・卒業生、小学生など、縄を持ちきれないほど参加者が集まる。優勝杯（常磐カップ）をかけ、中には手の皮をむいてしまう人も出るほど盛り上がる競技である。昼食時には弁当の販売を一昨年度から始めた。



【綱引き競技の様子】

ウ 文化祭ふれあいバザー

地元の商店や各家庭から提供してもらった品物を販売している。毎年好評で、たくさんの方に喜んでもらっている。販売時間を工夫し、学区の方がより優先的に購入できるように心掛けている。

どの商店の何を販売するかをPTA役員で検討を重ね、販売している。カレーライスだけはPTA役員と委員が調理している。野菜は各家庭や地元から提供されたものを使用し、400食ほど売れる大人気食品である。

この二つのバザーをまとめて「ふれあいバザー」と呼んでいる。販売する中での会話を大切に、学校と家庭・地域をつなぐ活動になるように心掛けているからである。



【寄贈品バザーの様子】



【食品バザーの様子】

4 成果と今後の課題

- ・学校の働き方改革に沿ってPTA活動をスリム化しているが、今のところ地域の連携などに問題はない。PTA活動をスリム化することで生じた時間やお金を有効に利用することが、大切であると考えます。
- ・食品バザーや寄贈品バザーは大変であるが、やりがいもある。市内では寄贈品バザーをやめPTA会費を上げるという学校もあると聞く。しかし、バザーを楽しみにしている生徒や地域の方がいる。良いものは残し継続していきたい。
- ・学校保健委員会や携帯・スマホ安全教室は、学校外部から講師の先生を招いている。子供の心身の健康、安心・安全な生活に密着する内容である。昨年度参加したPTA役員からは「話が分かりやすくおもしろい」「子供と話し合っただけで約束事を決めたい」という声があった。PTA役員は、今まで以上に学校行事への参加をPTA会員に呼びかけていく。
- ・PTA会員のすべての方が学校教育に関心をもち、PTA活動や学校行事を通して相互の親睦を深め、学校教育活動のサポートに尽力していきたい。



【学校保健委員会の様子】